USPTO、審査待ち件数削減の取り組みについて現状を報告

2026年4月15日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、赤木

USPTOは、4月10日付のプレスリリース[1]で、特許出願の審査待ち件数の削減に向けた取り組みにより、審査待ち件数が減少傾向にある旨を報告した。USPTOは、2026年度中に発出された一次審査結果通知（FA）件数が数年ぶりに同期間における新規出願件数を上回った[2]と説明している。

プレスリリースによれば、特許出願の審査待ち件数について、2025年1月の837,928件から、本年4月6日時点で過去2年間のうちで最少となる776,995件まで減少したとされる。また、この減少傾向は2026年度後半も継続する見込みであると説明されている。

特許[3]の審査待ち件数の推移[4]
（2026年度：月別）

時期	審査待ち件数
（参考）2025年度	788,229件
2025年10月	791,173件
2025年11月	788,650件
2025年12月	795,610件
2026年1月	792,172件
2026年2月	789,483件
2026年3月	783,414件

特許のFA期間の推移[5]
（2026年度：月別）

時期	FA期間
（参考）2025年度	22.6月
2025年10月	22.5月
2025年11月	22.5月
2025年12月	22.5月
2026年1月	22.4月
2026年2月	22.2月
2026年3月	22.1月

USPTOは、FA期間が36月を超えそうな未審査の特許出願についても着実に審査着手が進められており、古い審査待ち出願の解消も近い旨を説明している。

スクワイヤーズUSPTO長官は、審査待ち期間の短縮は出願人におけるコスト削減にも資するものであるとした上で、引き続き審査待ち件数の削減とともに審査の品質向上に取り組む旨を説明している。また、この取り組みを進めるため、特許審査官向けAIツールの活用のほか、特許審査官の新規採用を引き続き促進するとしている。

（以上）

---

[1] USPTO turns the corner on unexamined patent application backlog reduction
[2] 2026年度第2四半期終了時点で、出願件数：30.72万件、FA件数：30.87万件とされている。https://www.uspto.gov/dashboard/patents/
[3] 植物特許、再発行特許を含む
[4] https://www.uspto.gov/dashboard/patents/
[5] https://www.uspto.gov/dashboard/patents/pendency.html